

記事を読んで、問いに答えましょう。

2022年1月27日朝刊

伊豆の国 住民有志

一時避難時に活用して

風呂敷で持ち物一目

伊豆の国市の住民有志団体「チーム防災いずのくに」はこのほど、災害による一時避難時に必要な持ち出し品のイラストを描いた防災風呂敷「ittoki（いっつき）」を商品化した。

風呂敷は90センチ四方で、分けし、それぞれの対象で雨を防げるのに加え、黄色を基調にした。イラストが避難時に必要なもの袋状にして水を運ぶことが高年齢者、障害者、を介している。撥水（はたき）は一般、子育て中の人に区（つすい）、防水加工素材（すい）が24日に同市のあやめ会

イラストで紹介商品化

館で完成報告会を開き、メンバーが開発経緯や特徴、使い方を山下正行市長らに説明した。メンバーは「市民に届け、いざというときに活用してほしい」と話した。山下市長は「避難の手助けになるすばらしいアイテム」と大鼓舞を押しした。

チーム防災いずのくにには市内に甚大な浸水被害をもたらした2019年の台風19号を教訓に、出前講座などで啓発に取り組んでいる。商品化は防災にかかるのに続き2件目。

防災風呂敷は1枚1800円。問い合わせは市危機管理課 入電055（948）1482へ。

（大仁支局・小沢佑太郎）

災害での一時避難時に必要な持ち出し品のイラストを描いた防災風呂敷「伊豆の国市のおやめ会館



①見出しの「風呂敷」は何と読みますか。ひらがなで書きましょう。（ ）

②記事の「防災風呂敷」には、何という名前が付けられていますか。ひらがなで書きましょう。

（ ）

③この「防災風呂敷」には、何が描かれていますか。

[]

④この「防災風呂敷」には、素材にも工夫があります。どんな工夫ですか。

[]

年 組 名前

